



小貝川ふれあい公園の自然観察ゾーンにあるオオムラサキの森で12月11日、「オオムラサキの越冬観察会」が行われました。

観察会は、下妻小学校3年生の総合学習の一環として毎年行われているもので、「オオムラサキと森の文化の会」の会員5人が講師となり、児童107人と一緒に落ち葉の中で越冬している幼虫を探して観察しました。

エノキの根本周辺の落ち葉を一枚一枚返しながら探すと、落ち葉と同じ色をした体長1センチメートル程度の越冬幼虫を見つけることができます。児童たちは「背中に四つある角が可愛い」などと言いながらも関心を示し、皆で観察した後は元の場所に丁寧に戻しました。

オオムラサキは6月下旬～8月初旬に成虫となり、オオムラサキの森の上空を飛ぶ姿が見られます。



落ち葉についた越冬幼虫に関心を示す児童たち



サンタさんからプレゼントを受け取る参加者

あわてんぼうのサンタクロース
サンタが駅にやって来る！2014 in 騰波ノ江駅

関東鉄道常総線の騰波ノ江駅で12月20日、親子でふるさとの鉄道の認識と理解を育もうと、関鉄レールファンCLUBが主催するクリスマスイベントに、親子連れなど約20人が集まりました。

赤いベリーが鮮やかなクリスマスリースで飾られた列車からサンタクロースが登場すると、駅のホームで待つ子どもたちからは「サンタさん、来た、来た」などと歓声があがりました。同駅で5回目の開催となった今回は、関鉄レール・メイトの守谷小絹さんがレディーズサンタとして加わり、子どもたちにお菓子が入ったプレゼントを手渡しました。

子ども2人を連れて参加した石毛真紀子さんは「季節的なイベントなので、子どもが喜んでくれると思い連れて来た。私は高校生の時から常総線をずっと利用しているので、これからもイベントなどで盛り上げてほしい」と一足早いクリスマスを楽しみました。



運転手に安全運転を呼びかけました(宗道交差点で)

交通事故防止を呼び掛け

年末の交通事故防止県民運動キャンペーン

年末の交通事故防止県民運動(12月1～31日)の一環として街頭キャンペーンが12月1日、本宿交差点と宗道交差点の2箇所で開催され、下妻警察署や市内交通団体等の関係者約80人が、早朝の通勤ドライバーに「安全運転をお願いします」などと啓発品を手渡ししながら交通事故防止を呼び掛けました。

県警の統計によると、県内の交通事故による死者数は平成26年11月末現在で124人。前年同時期より22人減っていますが、犠牲者の約半数に当たる55人が高齢者となっています。

今回の運動は「反射材 あなたの未来を照らしてる」をスローガンに、「子どもや高齢者の交通事故防止」「夕暮れ時と夜間の交通事故防止」「飲酒運転の根絶」の三つが重点事項とされています。県民一人一人が、交通ルールを遵守し、交通マナーの向上に取り組みましょう。

志に向かって歩こう

下妻中学校で立志行事「下妻街道歩く会」

元服にちなんで、数え年の15歳を祝う「立志式」。将来の決意や目標などを明らかにすることで、大人になる自覚を深める行事です。

下妻中学校の2年生211名は11月20日、立志を迎えるにあたり、日光街道千住宿から常州(常陸国)真壁郡下妻を経て、奥州街道喜連川宿を結ぶ「下妻街道」を歩くことから、何事にも粘り強く取り組む心と地元の歴史を感じて郷土愛を育てようと「下妻街道歩く会」を実施しました。

立志行事として初の試みとなる歩く会のテーマは「WALK! WALK! WALK! ～志に向かって歩こう～」。生徒たちは、坂東市岩井公民館から同校に戻る約33キロメートルの南コースと栃木県真岡市の専修寺から同校に戻る約30キロメートルの北コースに別れ、約8時間かけて根気強く自分の足で歩き通しました。

完歩した男子生徒からは「この歩く会で、団結力やあきらめない心を学びました」と話が聞けました。



のぼり旗を掲げ元気に歩く生徒たち(北コース・筑西市黒子周辺)

ほっとレポ・ライン Hot Repo Line 市民の声

アメリカ人宣教師ピンフォード夫妻の住まいとして大正12(1923)年に建てられた「ピンフォード邸」(下妻乙・陣屋)を訪れた筑西市在住の70代女性(匿名)からのお便りを紹介します。

前略 私の感動した気持ちを素直に書かせていただきました。

下妻市在住の親友の一人から常陽リビングというタウン誌を見せてもらいました。平成26年6月14日(土)発刊の常陽リビングの中に「ピンフォード邸」(米国人夫婦が暮らした在米工法で建てた洋館)の記事と写真を見て、先日さっそく訪問させていただき、浅野様より丁寧に説明を受けながら見させていただきました。

大正12年の建物は和洋折衷で、バランスよく、日本人の職人さんの技に、ただただ驚きました。外観は、重要文化財の札幌農学校(北海道大学)第2農

下妻市の誇りの一つとして

場の写真と共通している部分(赤いトタン屋根、横張りの板…)があります。

県内でも有名な下妻一高の近くにある「ピンフォード邸」は、下妻市の誇りの一つと改めて思った次第です。若いこれからの人にも、ぜひ見ていただけたら…という気持ちです。



和洋折衷の外観からは、日本の木造在来工法で洋風建築をつくった際の苦労の様子が伝わってきます

有料広告欄

有料広告欄